

## 10204染色整理業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労 働 者 規 模
1	2017	12	11~12	タイコロールを研磨作業中、研磨器具を持ち替えた瞬間に、研磨器具がタイコロールに接触し、両手親指が研磨器具とタイコロールの間に挟まり負傷した。	60	7	169	1~9
2	2017	10	10~11	仕事中にトイレに行き、出る時に段差につまずき転倒し右膝をぶつけた。	60	2	417	50~99
3	2017	10	8~9	生地にプリントする準備作業でドクター刃（長さ160cm、幅8cm位）に付着しているゴミ等を取るため、ドクター刃を、布で拭き取る作業をしていたところ、右手が勢いよく滑ってしまっ、右手、人さし指を切ってしまった。	38	8	166	30~49
4	2017	10	15~16	第2ピンテシター機を稼働して作業をしていたところ、ロールにホコリが付着していたため、軍手をはめた左手で除去していたところ、ロールに軍手が巻き込まれ左腕が挟まれた。	60	7	163	100~299
5	2017	9	10~11	ヒートセッター後部の耳カッター調整中、耳巻きが発生した為、直そうとしたところ右手人差し指をカッターに触れてしまい、切断した。	28	8	169	1~9
6	2017	9	11~12	工場の屋根の雨もり箇所を確認する為、屋根に登り写真撮影している時に、スレート屋根の明かり採り部分を誤って踏んでしまい屋根が抜け落下し、左ひじを強打し骨折した。	45	1	415	10~29
				弊社複合材事業部、生産工場にて炭素繊維（プリプレグシート）を製造する為、作業で使用する設備に材料として使用するフィルムを2本のロールの間に通して巻き返す作業を行っ				

7	2017	9	8~9	<p>ていたところ、ロールの間に誤って左手を挟んでしまい、抜けなくなった。近くにいた同僚が緊急時の対応として非常停止ボタンを押して機械を停止させたが、挟まった左手は抜けず、出血していた。直ちに救急に連絡、同僚達がロールを外す作業を行い、何とか左手を抜くことが出来たが、皮膚がめくれており、到着した救急隊員の方々が応急処置を行った後、病院へ搬送、救急手術を受けた。設備の使用方法及び作業手順については指導教育を行っていたが、その内容とは異なる方法で作業を行って、今回の事故につながってしまった。</p>	36	7	163	100~ 299
8	2017	6	14~ 15	<p>当社工場中央部に設置された脱水機を用いて、カセ糸の脱水作業に従事していた。脱水を終えたカセ糸を脱水機横のカセ糸置場に取り出していた際、脱水機下の排水溝の蓋の隙間に長靴を履いた右足先が嵌まり、慌てて抜こうとしたところ右足が長靴から少し脱げ、バランスを崩した体勢で右足に体重がかかり、転倒した。その際、右膝を捻り受傷した。</p>	30	2	416	10~ 29
9	2017	6	7~8	<p>準備倉庫内広場にて部署の朝礼をしていたところ、突然後ろ側に倒れ、台車に接触した。そのまま座り込み、その後、横に倒れて額を地面に打った。</p>	24	90	921	100~ 299
10	2017	5	13~ 14	<p>染色後のワタを洗い乾燥する工程で、仕上に使用する油剤を運搬中、油剤容器が通路にある踏み台に当たり傾いた。体勢も前のめりになり、左足が突っ張ってアキレス腱を切った。</p>	39	19	379	50~ 99
11	2017	4	9~ 10	<p>作業現場において、高圧釜の冷却作業を終えたつもりで開閉作業を行おうとし、圧力を抜いたつもりでいたが中の溶液（湯）が吹き出し、左脚全体、脚裏、右脚、ひざ、脚首、甲に火傷を負った。</p>	58	11	529	10~ 29
				<p>1号ヒートセンター乾燥機出口にて乾燥機から出て来た生地にシワが発生しているのに気付き、そのシワを伸ばそうと2</p>				

12	2017	4	17~ 18	本縦に並んでいる引き出しロール（直径15cm、ロールのすき間4cm）の近くで、左手で引っ張って直していたところ、あやまって左手がロールに巻き込み、肘まで入って抜けなくなった状態で、自分で無理やり引き抜いた時に左手の手首等を脱臼骨折してしまった。	26	7	163	50~ 99
13	2017	4	11~ 12	染色工場内で糸の入った段ボール（10kg位）を脇に寄せている時、段ボールの箱を降ろす時に少し上半身を捻ったまま作業をして腰を痛めた。	25	19	921	30~ 49
14	2017	3	13~14	染料溶解作業を行う際、袋入りの苛性ソーダをタンクに入れる時、右手が滑り苛性ソーダが右手の甲にかかった。作業手順では専用の手袋着用が義務付けられているが、手袋をつけないで作業したため負傷してしまった。	24	12	519	50~ 99
15	2017	3	10~11	チーズ染色現場にて染色作業中、最後の作業行程中に釜を開けた時に熱湯をかぶり、火傷を負った。	32	11	341	10~ 29
16	2017	3	15~16	厚手手袋を着用し雑巾にてRBロールの水拭き掃除を行っていた際、雑巾が巻き込まれたのを取ろうとし、駆動ロールとRBロールに両腕が肘手前まで巻き込まれた。	29	7	163	100~ 299
17	2017	3	20~21	プレウエット機で精錬作業中、処理槽内で加工布が構内のドラムに巻き付き、機械が停止したため直そうと、本来は排水をすところ排水せずに処理槽内に入り、ドラムの上に乗って作業をしたが、足を滑らせて槽内（95℃）の液の中に右足が入ってしまった。その後、足を簡単に水で洗って作業をしていたが、翌日になり熱湯で悪化した。	57	11	169	50~ 99
18	2017	3	15~16	KDライン・ミキシングロールからウォーミングロールへコンパウンド搬送するコンベアーを使用する際、切り出しナイフを上下調整する取っ手付きの重りをセットしたが、しっかりはまっていなかったため重りが左足の上に落下し、左小指を骨折した。	31	4	521	100~ 299

19	2017	2	17~18	状況として産業用袋製造工場内で商品下部のセット作業（商品の下部排出口（直径40cm、高さ40cm）円筒形の部分を高さ約20cm内側に折り込む）において、当該円筒形部分高さ40cmを約20cmに内側に折り込む時、左右両手の指先で排出口縁を掴む際に左手に持っていた鋏で右環指と右小指を突き、切ってしまった。原因は左手にハサミを持っていたこと。	63	8	364	10~ 29
20	2017	2	11~12	面ファスナー工場内（マジクロス）で、カット機を使用してファスナーを裁断中、裁断後の製品がカット刃付近に（出口）に溜まったため、その箇所をよく見ずに、手で取ろうとして、左手人差し指を負傷した。※機械休止せず、行った。	34	8	169	50~ 99
21	2017	1	10~ 11	自社ワインダー場にて、糸巻き作業中、誤って左手が糸巻きドラムに巻き込まれ、人差し指が挟まれ負傷した。	63	7	169	50~ 99
22	2017	1	14~ 15	サイジング機の前側で、プレスローラーを取り替える作業中、プレスローラーを持ち上げて移動しようとしてバランスを崩し、持っていたプレスローラーと共に倒れて、左手首付近を骨折した。	54	2	612	100~ 299
23	2017	1	8~9	工場内のタオル乾燥仕上場に於いて、タオル乾燥機の稼働中のチェーンに油をさそうとして、誤って右手人差し指を挟まれ負傷した。	35	7	169	50~ 99
24	2017	1	10~ 11	連続樹脂加工装置のボールパッダー装置内で、樹脂調液作業中に仕上生地がパッダー通過時に中央部よりずれた為、修正を行った時、回転中のパッダーロールに右手が挟まり、引き抜いた際に右手中指と薬指の指先を裂傷を負った。	56	7	163	10~ 29
25	2016	11	10~ 11	縫製の作業中、休憩時間になったので作業を中断し、作業台から離れようと椅子から立ち上がろうとして歩き始めた時、足が滑り転倒し、左腕をついてしまい、負傷した。	63	2	417	100~ 299
				KD製造フィルムをホイストクレーンで持ち上げたところ、				

26	2016	11	10～ 11	フィルムに歯止めがしていなかった為、ずれて自身の方向に転がって来てしまい、鉄柵とフィルムの間に足を挟んでしまった。	21	5	529	100～ 299
27	2016	10	16～ 17	染色工場内で染色済みの糸を染色機からホイストを使って取り出し、台の下に降ろしている時、糸を乗せるAの台の筒にキャリアを入れようとしたがうまく入らない為、少し引き上げもう一度入れ直しをしている作業中、下の台にばかり気を取られ、入れ直し作業中に出来たチェーンの緩みに気付かず、キャリアの吊り具とホイストのフックの間に出来た隙間に指が挟まり、引き抜いた際に負傷した。	59	7	211	30～ 49
28	2016	10	11～ 12	仕上検査場の検査機で製品の検査中、汚れを発見し汚れ落としのスプレーで作業中に気分を悪くし体調不良を訴えた。	42	12	514	50～ 99
29	2016	10	16～ 17	終業時刻間近になったので荷物を持って片付けて階段を下りる時に、一番下の段を踏み外して前にのめった。その時に手をついて体をささえたので、手首に重圧がかかった。	76	2	413	10～ 29
30	2016	9	10～ 11	作業場にて、荷物を載せるためのパレットを1m50cmの高さから下に降ろす作業をしている時に、うっかり自身の左足のの上に落とし左足の甲を骨折した。	73	4	379	10～ 29
31	2016	8	16～ 17	工場内において反物の仕上げの際に、安全装置で機械を止めた後に、マングルという機械の上下のローラーに挟んだ布を補整していたところ、安全装置に触れてしまい、機械が再稼働し、そのまま両手のはさみこまれ負傷した。	67	7	163	10～ 29
32	2016	7	8～9	見本染色場にて染色工程のうちリーピングを90℃×15分行い終了ブザーが鳴りフタを開けようとした時、本来ならバルブを開き、中の圧を抜いて圧力計のゼロを確認し、さらにもう一つの圧抜き兼ロックを解除して、フタを開けるが、今回圧が抜けきった事を確認せず無理に開けたため熱湯が吹き出し、人体にかかった。	42	11	349	10～ 29



40	2016	3	10～ 11	クリップに付いた糸くずを右手で取っていたが取り切れず左手を伸ばしたところ、左手のジャンパー袖がクリップに挟まり、そのままとれずに左手がクリップカバー内に持っていかれ、引き抜いたところカバーで左手甲の皮がめくれ被災した。	53	7	224	100～ 299
41	2016	2	17～ 18	屋外で原料在庫整理中、フォークリフトを運転しバックしていた時、後方確認不足で、停止中のベールクランプリフト刃先部分と運転中のフォークリフト間に左足膝下部を挟まれ、左足先を多発性骨折した。	53	7	222	50～ 99
42	2015	12	17～ 18	運搬作業後、ブローアーム前に駐車してあったトラックに乗り込むため、いつもと違うルートを通ったところ蓋の付いていない排水溝に落ち、左足のすねをぶつけた。	52	1	417	500～ 999
43	2015	11	10～ 11	ワインダー場で糸の巻き返し作業をしていた。糸を積んだ台車の上にダンボール箱を置き、その中に完了した糸を入れていた。その際、高さを調節し入れやすくするために台車をクレーンで吊っていたが、1階の作業者が別の台車を2階に上げるために、糸を積んでいた台車を1階に降ろした。2階の作業者は、残っていた糸をダンボール箱に入れるため1階に降りたが、高くて手が届かないため、ジャンプしてダンボール箱に入れた。着地の際、他のダンボール箱に足が当りバランスを崩して転倒、手をついて骨折した。	62	2	416	50～ 99
44	2015	11	12～ 13	工場内で、倉庫より反物をリフトで運搬中、近くまで行き、その後作業台まで肩に担いで運んでいる際に、台車の陰になって床に置かれていた紙管に気付かずに、左足で踏んでしまい足首を捻って、靭帯を損傷した。	49	2	417	100～ 299
45	2015	10	7～8	車で通勤し、駐車場に到着後、車から降りて会社内へはいる途中、急に左足が滑ってしまい転びそうになったので転ばないように踏ん張ったところ、左足首を骨折してしまった。	47	19	417	30～ 49





54	2015	4	1~2	編物生地の染色整理加工作業中、加工で使用する苛性ソーダを薬品室にてバケツに入れ秤量作業し、そのバケツを持ち上げた際に、バケツが薬品飛散防止用のカバーにあたり、バケツの中に入っていた苛性ソーダが、長靴の中に入ってしまった。	43	12	514	100~ 299
55	2015	4	10~ 11	筒状に巻いた織物（総重量約172kg）を織機（巻取機）から運搬用台車の方へ手で押して移動させた際に押す力が弱く、転がりきらずに戻ってきたので、咄嗟に両手で支えた際、右手を骨折した。	38	6	611	100~ 299
56	2015	3	14~ 15	開反を終え、台車（重さ約80kg）を台車置き場へ戻そうと押して歩いていたところ、地面が濡れていた為、足が滑って転び、台車に顔があたり、かばおうと左ひざを地面についたが、そのまま顔、左肘、両手を地面に打ち付けて負傷した。	63	2	417	10~ 29
57	2015	2	13~ 14	工場にてロータリー機の作業中、工場北側の通路台（幅40cm、高さ50cm）を運行中、右足を踏み外し転倒落下し、通路と壁の隙間に倒れこむ形で、通路に胸を強打した。	56	2	417	50~ 99
58	2015	2	7~8	通勤途中、敷地内で歩いていたところ、路面凍結の為滑って転倒し足を骨折した。	61	2	417	10~ 29
59	2015	1	11~ 12	工業用マシンで作業をしている時に、布地の端を縫製している際、針の作動中に左手人差し指が作動範囲内に入ってしまった、針が左手人差し指を貫通し負傷した。	53	8	169	30~ 49
60	2014	12	11~ 12	工場内において年末大掃除の際、染色機上部の振落しチェーン部の掃除中、駆動させたまま拭き掃除をしたため、左手の軍手がチェーンにからみスプロケット部に巻き込まれ、左手母指尖部を切断した。	44	7	121	10000 ~
61	2014	11	9~ 10	試験室で丸編み機のベルトにすべり止めをベルト内側に付ける際、誤ってベルトとベルトベルトローラーの間に右手中指がはまされ負傷した。しばらく様子を見ていたが、翌週に	41	7	121	30~ 49

				なっても晴れと痛みがあったため、病院を受診した。				
62	2014	11	16～ 17	晒の加工工程で布を機械に送り込む作業をしていた時に送りスイッチを入れなくて機械本体を動かしてしまったため、マングルに布が巻き付きその布を引っぱらなければならないところを誤って同時にその作業を行ったため指が挟まって負傷した。	68	7	169	1～9
63	2014	8	13～ 14	当社工場内において染色機の釜の洗浄作業中、被災者がバケツを洗うために投入、排出槽から洗浄剤をバケツでくみ上げた際、誤って足を滑らせ、洗浄剤が右半身にかかり負傷した。	31	12	514	30～ 49
64	2014	7	8～9	工場に於いて、溝蓋につまずき、膝を強く打った。	65	2	416	1～9
65	2014	7	16～ 17	工場内において、カットしたネット生地を両手で抱え、テナ一部署へ運んでいる際、垂れ下がっていた生地を踏みつけ、体勢が崩れ転倒、その際右手を着き、右手首を骨折した。	65	2	529	10～ 29
66	2014	6	14～ 15	事業所内アトリエにてハトメ打ちの作業中に、上下の台座にそれぞれハトメ金具を設置しようとしたところ、上の台座に中々はまらず、はめようとした際、手元スイッチに手が触れハトメ機が作動し、右手中指爪部分を挟み、負傷した。	55	7	159	100～ 299
67	2014	6	10～ 11	染料追加作業が発生したため、染料室にて染料桶（20kg）を軽量台（高さ13cm）に乗せようとした。その際腰を落とさずに腕の力だけで桶を持ち上げた瞬間腰に痛みが走った。腰部捻挫。	19	19	611	100～ 299
68	2014	5	13～ 14	反物を筒の中に詰め込む作業中、アダプター内に押し込む反物を軽く指で支え、エアシリンダーを使用して詰め込もうとした際、指を離すのが遅れアダプターとエアシリンダーに指を挟まれ、左手親指第一関節を切断した。	75	7	169	50～ 99

69	2014	4	11～ 12	1階出荷場において、被災者が検査している物を見に行くために歩き出したところ左側にいた社員Aが被災者が歩いてくるところを知らず同じ方向に動いたところ、被災者がAの足に引っかかり右前方に倒れて右膝と右肘をコンクリート床に打ち負傷した。	64	2	921	30～ 49
70	2014	4	10～ 11	工場検反機において検査をスタートさせた際、原反と紙管とのテープ留めが一か所はずれてシワになったのでシワの部分を直そうと左腕を伸ばした瞬間手首から藤の部分までロールに挟まれ負傷した。	52	7	163	500～ 999
71	2014	3	16～ 17	シルケット機（苛性ソーダを使用し、生地に光沢を持たせる機械）を動かしながら清掃時に、空気圧で生地の水分を絞る回転するマングルにゴミが付着していて、水で流れ落ちないので厚手のゴム手袋を装着した右手でその付着分を取ろうとした際、ゴム手袋の先が回転するマングルに巻き込まれ、そのまま手も一緒に巻き込まれた。本人自ら緊急停止ボタンを押し、他工員と一緒に挟まった手を抜いたが、右手中指、環指、小指を損傷した。	36	7	169	10～ 29
72	2014	3	8～9	プラスチックカレンダー機で生地の光沢風合い加工をしている時に生地の耳が折れていたため左手で直そうとしたが、機械を止めたと思い込み右手がロールに触れてロールとロールの隙間に挟まれた。	57	7	163	100～ 299
73	2014	1	8～9	会社作業場において白生地を干し、布干台から下りる際に階段が凍っていたため、足をとられ下から1段目より滑り落ち転倒し、右脇腹を負傷した。	66	1	413	10～ 29
74	2014	1	15～ 16	CM-1機出口の低速回転ロールを掃除中に右腕をもっていかれ、ゴムロールと金属ロール間に挟まれる。	40	7	163	100～ 299
				染料溶解室にて、苛性ソーダをポンプを用いて移し替える作業中、ポンプに取り付けていたホースの取付金具による接続				

75	2013	10	14～ 15	が不十分であったため、ホースが外れ、ホース取付部から天井に向かって噴き出した苛性ソーダを頭部から全身に浴び、火傷を負った。	53	12	519	30～ 49
76	2013	8	9～ 10	フォークリフトの作業中、ガソリンフォークリフトのラジエター栓を抜いたところ、火傷を負った。	60	11	222	1～9
77	2013	8	16～ 17	染色作業中、熱湯が長ぐつの中に入り、足甲に火傷を負った。	37	11	519	1～9
78	2013	7	12～ 13	シルケット機の原反投入口の反対側にて、高い所にあるバルブを開ける作業を行い、降りようとしたところ、足場を踏み外し、足から落ち、足首を骨折した。	47	3	371	100～ 299
79	2013	7	13～ 14	反物の検査を終え、足に体重を移動した際、バランスを崩し、転倒した。	36	2	921	不明
80	2013	7	16～ 17	反物を運搬中のフォークリフトを避ける為、台車の間に待機していた際、フォークリフト上の台車が通路端に止めてある他の台車に接触し、弾みで台車に足を挟まれた。	65	7	222	30～ 49
81	2013	6	16～ 17	反物（縦1m×横2m、タオル布が続いたもの）をさらすため大型機械に入れる作業中、急に目に痛みを感じた。	46	4	519	50～ 99
82	2013	6	17～ 18	生地 of 布目矯正機に布が絡んだ為、布地を直そうとした際、機械のロールとロールの間に手首を挟まれた。	57	7	163	30～ 49
83	2013	6	8～9	糸をセットしたキャリアをホイストで吊り下げ、乾燥機から取り出した際、ホイストのストッパーに手をかけ、下げるべきホイストを上げた為、ホイストとフックの間に指を挟まれ、骨折した。	64	7	211	10～ 29
84	2013	6	11～ 12	物干の檣の上にて、生地を干す作業をしていた際、檣の上を歩いていたところ、檣の隙間に足を踏み外し、足を負傷した。	44	1	414	10～ 29
			19～					30～

85	2013	6	20	トイレに向かう際、U字溝の蓋に躓き、転倒した。	25	2	417	49
86	2013	5	15～ 16	リフトブリーチ窯で糊抜き工程が完了した生地をガイドローラーを通して下の台車に移し変える作業中、生地の最後の部分では生地がガイドローラーから離れてはねるため、一旦ローラーを停止し、少しずつ生地を送ることになっていたが、ローラーを停止しなかった。このためガイドローラーから外れた生地の端がはね、体に当り身体のバランスを崩し、高さ60cmの柵を越えて、約2.5m下に転落。腰を強打した。	53	1	529	50～ 99
87	2013	5	9～ 10	2階の工場から1階の事務所に移動する際、敷いてあるゴムに躓き、転倒。膝を打った。	55	2	417	10～ 29
88	2013	5	14～ 15	円盤カッター交換作業中、円盤カッターで手の平を裂傷した。	34	8	391	100～ 299
89	2013	4	19～ 20	生地プレス機に生地を送り込んで入れる作業中、生地の一番最後の部分にシワが入ったため、そのシワを取り除こうとし、手を持っていったところ、プレス機に手を挟まれた。	66	7	163	30～ 49
90	2013	4	14～ 15	検査中、巻き取りロールに手を挟まれ打撲、切り傷を負った。	62	7	163	10～ 29
91	2013	4	14～ 15	トラックに荷物を積み込み作業中、トラック後方のゲートが下がっていることを忘れ、足を踏み外し、ゲート上に倒れ、手、肩を打ち挫傷、打撲を負った。	62	1	221	10～ 29
92	2013	3	7～8	地面の凸凹に躓き、転倒。顔と手を地面に強打した。	65	2	417	30～ 49
93	2013	3	14～ 15	溶接作業中、しゃがんだ際、膝を痛めた。	50	19	999	100～ 299
94	2013	1	8～9	染色作業中、染色機回りの作業台に登ろうとした際、階段で足を踏み外し、転落。手、膝部を強打した。	40	1	413	10～ 29
				出荷場トイレに入る為、小走りでトイレの入口に近付いた				

95	2012	12	1～2	際、靴の裏面に雪が付いていた為、滑り、転倒し、手を床面につき、負傷した。	44	2	417	100～ 299
96	2012	12	15～ 16	生地解反準備場にて移動中、生地置場に敷いてあるビニールに足をとられ、コンクリートの地面に転倒し、手をついて骨折した。	61	2	379	30～ 49
97	2012	12	18～ 19	反物を持って移動させようとした際、負傷した。	62	19	611	30～ 49
98	2012	11	9～ 10	糸の検査場にて糸巻取り機で糸を巻取っていたところ、機械に絡まった糸の除去作業をしていた際、誤って足踏みスイッチを踏み、巻取り機が作動し手人指し指が巻き込まれ、爪の根元部分より切断した。	60	7	169	30～ 49
99	2012	10	11～ 12	加工上り商品を呉服用の箱に入れ、二階作業場から一階の納品準備所に下ろす際、箱内の帯、呉服等の重量が多かったため、階段の下から3段目で足を滑らせ転倒し、段の角に腰(大腿骨の横)を強くぶつけ骨折した。	58	2	413	1～9
100	2012	8	15～ 16	染色現場にて、防腐剤の原液を容器に移しかえた際、誤って作業着に原液を飛散させた。すぐに水で洗い流したが、着衣での洗いが不十分だったため、時間とともに皮膚の症状が悪化した。	43	12	514	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。